

1 沿革

筑西市は、平成17年3月28日に旧下館市、旧真壁郡の関城町、明野町、協和町の1市3町が合併して誕生した。万葉集にも歌われている筑波山の西側に位置し、風光明媚で豊かな自然環境に抱かれた人口約10万5千人の茨城県西部の中核都市である。

旧下館市は、古くは桓武天皇の天応元年（781年）、藤原魚名が奥州に備え三館（上館、中館、下館）を築いたといわれ、天慶3年（940年）の平将門の乱のとき下野より起った藤原秀郷（藤原魚名の子孫）が下館に拠り将門追討の軍を進めたという。天永2年（1111年）に藤原実宗が常陸介となり伊佐荘中村（今の中館）に住み伊佐氏を名のり、子孫の朝宗が伊達氏の祖となった。南北朝時代の興国4年（1343年）、一族の伊達行朝は南朝に組し足利尊氏と戦い落城し以来廃城となった。文明10年（1478年）に陸奥岩城水谷（福島県いわき市）から出た水谷勝氏が結城氏広（結城14代）より独立下館城主となり、寛永16年（1639年）、8代勝隆が備中成羽（現岡山県高梁市）へ移封されるまで160年間戦国大名として領内経営にあたり下館の今日の基礎をつくった。水谷氏移封後は水戸徳川頼房の子、松平頼重が城主となったが、僅か2年で讃岐高松（香川県高松市）に移封となり、以後は代官政治や増山氏、黒田氏の城主の後をうけて、享保17年（1732年）、石川総茂が伊勢国神戸（三重県鈴鹿市）より入封2万石の城主となり、137年を経て9代総管の時に明治維新となった。明治17年の自由民権運動には自由党員の決起があり、加波山事件の発端の地でもある。一方文化面では俳人と謝蕪村が青年時代約10年にわたりこの地方を中心に修行している。又陶芸界の巨匠板谷波山、洋画家の森田茂も下館に生まれている。明治以後県西地方の商工業の中心地として発展し、隣接8ヶ村との合併を経て昭和29年3月15日に市制施行し、下館市が誕生した。

旧関城町は、鬼怒川と小貝川に挟まれた地形で古くは沿岸の文化が特に開けており、現在県指定文化財となっている船玉古墳にその面影をみることができる。一方、小貝川の沿岸地方は、黒子高台の下から鳥羽の淡海が広がり、沿岸に住家が点在し、淡海から食糧を得て生活を営んでいたと思われる。中世には、関館に関城が築城され、南北朝時代、北朝方の「足利尊氏」の軍勢と南朝方にくみした関城主「関宗祐」が激しく戦い、その間関城に赴いた南朝の重臣「北畠親房」が関城において「神皇正統記」を完成したと伝えられている。江戸時代は、多くが旗本の領地となり、天領・寺領・各藩領と入り乱れてその支配は複雑化しており、主な産業は農業であったが、鬼怒川沿岸地帯は養蚕が盛んで絹織物の生産も盛んに行われていた。しかし、村と村の貧富差が甚だしく疲弊を建て直すために「二宮尊徳」が花田に来村し、荒地起耕や新田開発を重点に3年間にわたり仕法を行っており、この頃の特産となった梨の栽培も始め

1 総説

られた。明治に至り、旧来の村が合併して関本町、河内村、黒子村の新しい町村が誕生した。養蚕業は絹織物と共に盛んになり、梨の栽培は漸次隆盛の一途を辿り明治37年には当時画期的な共同販売組織がつくられた。その後、昭和31年8月1日に関本町、河内村、黒子村の1町2村の合併により、関城町が誕生した。

旧明野町は、倉持遺跡などから貝塚や土器が発見されたように縄文時代より早くから開け、古代は狩や鳥羽の淡海での漁業が生活の中心であった。大和国家が成立した4世紀頃は新治国に属し、大化の改新以後は常陸国新治郡、白壁郡を経て延暦年間に真壁郡と改称された。平安時代は平将門にかかわる伝承が多く、平国香の墓が東石田にあり、承平の乱や天慶の乱の中心地であった。また、当時は石田荘、村田荘、大村荘、田中荘といった荘園が発達していた。南北朝時代は、小田、関、下妻、結城氏などの支配下におかれており、海老ヶ島城は海老原右近将監輝朝によって築かれ、佐竹氏の援助を受けた宍戸義長が文禄4年(1561年)に入城してこの地域を整備した。江戸時代に入るとこの地域は天領や旗本領になり、代官や知行によって治められ、支配者が異なる相給が殆どあった中でも名主、組頭、組が組織され、農民同志が援助しあう自治制度が確立していた。1868年の大政奉還後、常陸県、若森県を経て茨城県に編入され、明治時代中期の市町村制施行により、大村、上野村、鳥羽村、村田村、長讚村が誕生した。その後、大村が町制施行したのち長讚村の一部を編入(一部は真壁町に編入)し、昭和29年11月3日にこの1町3村が合併して明野町が誕生した。

旧協和町における歴史はおよそ1万年前の無土器時代にまで遡り、縄文、弥生・古墳時代へと北部の小栗台地を中心として人々の生活が営まれ、集落跡、古墳群等の数多くの遺跡が残されている。その後、崇人天皇の御代比奈良珠命が東国平定に派遣され、この子孫が新治の国づくりとして地域一帯を治めていた。律令時代には、出雲の臣の族が新治国の成朝に任命され、大化の改新の詔が下り律令国家が成立した。和銅年間に常陸国新治郡となり、奈良時代には町の東端古郡の丘に新治郡大領の郡衙(郡役所)や新治寺が建立され、政治・経済・文化の中心として栄えた。保延2年(1136年)には伊勢神宮の御厨領となり、小栗判官満重が地頭職となって治めていた。戦国時代になると伊勢御厨の機能は消滅し、太閤検地により新治郡は消滅した。江戸時代は支配関係が複雑化し、大名や旗本の知行領として明治に至った。明治22年の市町村制施行により、古里村、新治村、小栗村が誕生した。また、水戸線が開通し、明治29年に新治駅が建設され、町発展の重要な交通機関となった。昭和29年12月には町村合併促進法に基づき、3村が合併して協和村が誕生し、さらに昭和39年12月1日に町制を施行し、協和町となった。

2 位置

筑西市は、東京から北へ約70kmの距離にあり、市の中心は東経139度58分、北緯36度18分で茨城県の西部に位置し、東西は約15km、南北は約20kmで205.35km²の面積を有している。

南は、下妻市及びつくば市に隣接し、東は桜川市に、西は結城市、八千代町及び栃木県小山市に、そして北は栃木県真岡市に隣接している。

地形は概ね平坦で鬼怒川、小貝川などが南北に貫流し、肥沃な田園地帯を形成している。

道路体系は、市のほぼ中心を東西方向に国道50号、南北方向に国道294号が整備され、この2路線が交差した部分が市の中心部になり、さらにここから石岡市・つくば市・古河市方面に放射状に県道が整備されている。

鉄道は、東西にJR水戸線が走り、下館駅を起点として南は取手まで関東鉄道常総線、北は茂木まで真岡鐵道真岡線が運行されている。

3 土地

平成26年1月1日現在

総面積(km ²)	東 西(km)	南 北(km)	海 抜(m)	
			最 高	最 低
205.35	15	20	200	20

資料:資産税課

4 地目別土地面積

各年1月1日現在 単位:km²

年	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他	西暦
平成24年	65.89	52.69	31.56	13.24	0.82	9.31	31.69	2012
平成25年	65.87	52.61	31.62	13.21	0.82	9.38	31.69	2013
平成26年	65.99	52.30	31.68	13.12	0.82	9.50	31.77	2014

注)四捨五入の関係上、合計が総面積と一致しない。

資料:資産税課(概要調書)

5 気象

年(月)次	気 温(°C)			風 速(m/s)		降水量 (mm)	西 暦
	平 均	最 高	最 低	平均風速	最多風向		
平成24年	13.8	36.1	-9.4	2.5	北)	1,035.5	2012
平成25年	14.2	36.7	-8.8	2.4	北)	1,196.0	2013
平成26年	13.9	36.2	-10.0	2.3	北)	1,317.5	2014
1月	2.1	15.7	-7.9	2.1	北	17.0	
2月	2.7	18.7	-10.0	2.3)	北)	102.5	
3月	7.7)	23.5)	-5.6)	3.0	北	78.5	
4月	12.5	24.8	-0.1	2.7	北)	130.0	
5月	18.3	31.6	7.0	2.8	南	108.0	
6月	21.8	33.0	15.8	2.2	北北東	239.5	
7月	24.9)	35.0)	17.5)	2.1)	南南東)	135.5)	
8月	25.6	36.2	18.1	2.3	南南東)	83.5	
9月	20.8	30.7	9.6	2.0	北)	55.0	
10月	16.4	29.4	1.5	2.0	北)	266.5	
11月	11.0	22.1	-2.1	2.1	北	50.0	
12月	3.5	13.7	-6.5	2.5	北	51.5	

資料:水戸地方気象台

注1) 数値等は下館地域気象観測所(筑西市西石田)のデータ。

注2) 「値)」は統計値を求める上で、対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合(準正常値)。

6 市民の暮らし

<p>人口密度 1km²あたり 511.2人</p>  <p>筑西市</p> <p>H26</p>	<p>世帯人口 1世帯あたり 2.9人</p>  <p>H26</p>	<p>出生 1日あたり 2.0人</p>  <p>H26</p>
<p>死亡 1日あたり 3.5人</p>  <p>H26</p>	<p>婚姻 1日あたり 1.2組</p>  <p>H25</p>	<p>離婚 1日あたり 0.5組</p>  <p>H25</p>
<p>転入 1日あたり 7.3人</p>  <p>H26</p>	<p>転出 1日あたり 7.9人</p>  <p>H26</p>	<p>市税 1人あたり 133,346円</p>  <p>H25</p>
<p>市の予算 1人あたり 634,644円</p>  <p>H26</p>	<p>市民所得 1人あたり 3,731千円</p>  <p>H24</p>	<p>市職員 市民 117.6人に1人</p>  <p>H26</p>

<p>消防職員 市民1,009人に1人</p>  <p>H26</p>	<p>医師 市民855人に1人 歯科医師 市民1,335人に1人</p>  <p>H24</p>	<p>教員 教員1人あたり生徒数 13.3人 児童数 14.0人</p>  <p>H26</p>
<p>救急出動 1日あたり 11.6回</p>  <p>H26</p>	<p>火災 1か月あたり 2.8件</p>  <p>H26</p>	<p>交通事故 1日あたり 1.0件</p>  <p>H26</p>
<p>刑法犯 1日あたり 発生 3.0件 検挙 0.9件</p>  <p>H26</p>	<p>ごみ処理量 1日あたり 110.9 t</p>  <p>H25</p>	<p>し尿処理量 1日あたり 118.8 t</p>  <p>H25</p>
<p>商店数 市民86人に1店舗</p>  <p>H19</p>	<p>水道配水量 1日あたり 24,881m³</p>  <p>H25</p>	<p>下水道供用開始区域における 水洗化率 81.4%</p>  <p>H25</p>

7 茨城県内での「ちくせい」早わかり

分類	項目	筑西市の 指数値・実数値	県内 順位	茨城県の 指数値・実数値	基準日・年・年度
土 地 ・ 人 口	総面積	205.35km ²	12位	6,095.84km ²	平成25年10月1日
	可住地面積	195.64km ²	2位	3,981.85km ²	平成25年10月1日
	総人口	105,816人	8位	2,933,381人	平成25年10月1日
	一般世帯人員(1世帯あたり人員)	2.95人	10位	2.63人	平成25年10月1日
	人口密度(総面積1km ² あたり)	515人	22位	481人	平成25年10月1日
	年少人口割合(14歳以下)	12.7%	23位	13.1%	平成25年10月1日
	生産年齢人口割合(15～64歳)	61.2%	23位	62.1%	平成25年10月1日
	老年人口割合(65歳以上)	26.1%	21位	24.8%	平成25年10月1日
	出生率(千人あたり)	7.2‰	22位	7.9‰	平成24年
	死亡率(千人あたり)	11.3‰	23位	10.3‰	平成24年
	1人暮らし老人数 (65歳以上1万人あたり)	525.9人	35位	794.3人	平成25年4月1日
	未婚率	20.59%	29位	21.80%	平成22年10月1日
	外国人割合	1.70%	15位	1.72%	平成24年12月31日
経 済 ・ 財 政	市町村内総生産	426,436百万円	8位	11,462,562百万円	平成23年度
	製造品出荷額等(4人以上の事業所)	612,501百万円	6位	11,097,744百万円	平成24年
	商品販売額	176,486百万円	7位	5,775,259百万円	平成23年度
	小売事業所売り場面積	103,794m ²	9位	3,460,727m ²	平成24年2月1日
	就業構造(第1次産業)	8.63%	14位	5.84%	平成22年10月1日
	就業構造(第2次産業)	35.74%	11位	28.24%	平成22年10月1日
	就業構造(第3次産業)	52.57%	34位	60.79%	平成22年10月1日
	財政力指数	0.726	20位	0.693	平成25年度
	実質公債費比率	12.7%	10位	10.4%	平成24年度
	市町村民税(住民1人あたり)	65.77千円	13位	61.62千円	平成23年度
固定資産税(住民1人あたり)	60.52千円	21位	68.15千円	平成23年度	
歳出決算総額(住民1人あたり)	358.38千円	30位	371.55千円	平成23年度	
教 育 ・ 文 化	保育所数(10万人あたり)	18.90所	18位	16.94所	平成25年4月1日
	幼稚園数(10万人あたり)	9.45園	36位	12.44園	平成25年5月1日
	公立小学校児童数(教員1人あたり)	15.05人	20位	15.42人	平成25年5月1日
	公立中学校生徒数(教員1人あたり)	14.48人	9位	13.35人	平成25年5月1日
	公立小学校長期欠席率 (児童千人あたり)	1.93‰	31位	3.17‰	平成24年度間
	公立中学校長期欠席率 (生徒千人あたり)	20.01‰	34位	27.27‰	平成24年度間
運動広場数(10万人あたり)	15.91所	16位	12.90所	平成24年10月1日	

分類	項目	筑西市の 指数値・実数値	県内 順位	茨城県の 指数値・実数値	基準日・年・年度
居住・環境	水道普及率	90.88%	34位	93.31%	平成25年3月31日
	生活排水処理普及率	69.61%	29位	79.27%	平成25年3月31日
	下水道普及率	31.58%	34位	58.40%	平成25年3月31日
	ごみ収集量(1日1人あたり)	736g	39位	945g	平成23年度
	道路実延長(総面積1万㎡あたり)	137.13m	8位	91.84m	平成24年4月1日
	市町村道舗装率	67.44%	20位	62.42%	平成24年4月1日
	自家用乗用車保有台数(千人あたり)	801.2台	19位	733.5台	平成25年3月31日
社会保障・医療	国民年金受給金額 (受給権者1人あたり)	632.7千円	29位	644.5千円	平成25年3月31日
	生活保護被保護実人員(千人あたり)	7.8人	19位	8.7人	平成24年度
	一般病院数(10万人あたり)	4.7所	25位	5.5所	平成24年10月1日
	一般診療所数(10万人あたり)	71.1所	4位	58.2所	平成24年10月1日
	医師数(10万人あたり)	117.0人	18位	166.8人	平成24年12月31日
	看護師・准看護師数(10万人あたり)	799.4人	20位	917.8人	平成24年12月31日
	歯科診療所数(10万人あたり)	52.4所	9位	47.5所	平成24年10月1日
	歯科医師数(10万人あたり)	74.9人	8位	65.0人	平成24年12月31日
	生活習慣病による死亡者数 (10万人あたり)	642.0人	21位	586.4人	平成24年
	国民健康保険診療費 (被保険者1人あたり)	266,894円	23位	262,106円	平成23年度
安全	火災出火件数(10万人あたり)	48.30件	25位	50.53件	平成23年
	建物火災損害額(1人あたり)	1,848円	11位	1,373円	平成23年
	交通事故発生件数(千人あたり)	4.13件	25位	5.00件	平成24年
	交通事故死傷者数(10万人あたり)	557.9人	25位	665.0人	平成24年
	刑法犯認知件数(千人あたり)	12.55件	17位	12.52件	平成24年

資料:市町村早わかり(編集・発行:県統計課、発行月:平成26年6月)